

《千葉県DV防止・被害者支援基本計画（第4次）》  
令和元年度施策 評価シート

評価コード 8

施策の方向	DV予防教育の推進 虐待の早期発見と安全確保 職務関係者の資質向上
担当課	児童家庭課

1 事業の概要

基本目標	I, IV, VI	施策の方向	2, 7, 11	施策の内容	教育機関等の職員に対する研修の充実 DV相談と児童虐待相談の連携 DV職務関係者研修等の充実
当初予算額(千円)	1,665		決算額(千円)	834	
事業の概要・目的	87・88・89・90DV・児童虐待職務関係者研修の充実（男女共同参画課・児童家庭課） DVと児童虐待が密接な関係にあることへの理解を深め、DV被害者やその子どもへの適切な対応が行えるようにするため、DV相談と児童虐待相談の連携強化を視野に入れながら実務経験に応じた研修やスキルアップにつながる専門的な研修を実施し、職務関係者の研修の充実を図る。				
数値目標など					
指標名等	-				
目標	-	実績	-		

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

87児童家庭課（DV対策班）【当初予算458千円・決算243千円】・児童家庭課 市町村、県及び関係機関職員を対象としたDV・児童虐待職務関係者研修を実施した。 新任職員研修（Ⅰ部） 4/17, 5/8, 5/31 386名参加 新任職員研修（Ⅱ部） 6/11, 6/18, 7/9 279名参加 担当職員研修（経験者） 9/18, 10/17, 10/29 171名参加
88児童家庭課（DV対策班）【当初予算33千円・決算30千円】 市町村、県及び関係機関職員を対象としたDVによる子どもへの影響に関する研修を年1回実施した。 12/23 137名参加
89児童家庭課（DV対策班）【当初予算60千円・決算60千円】・児童家庭課 学校職員等に対してDV・子ども虐待対応研修を年2回実施した。 7/22・8/5 275名参加
90 児童家庭課（虐待対応推進室）【当初予算1,114千円・決算501千円】 児童虐待対応に関する体系的な研修を毎年定期的に行い、市町村職員や関係機関に対して児童虐待に関する知識や対応について周知し、連携強化を図った。 ・市町村等児童虐待相談職員研修 新任職員研修（Ⅰ部） 4/17, 5/8, 5/31 386名参加(再掲) 新任職員研修（Ⅱ部） 6/11, 6/18, 7/9 279名参加(再掲) 担当職員研修 9/18, 10/17, 10/29 171名参加(再掲) ・関係機関研修 教育機関向け 7/22, 8/5 275名参加(再掲) 医療機関向け 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止。

## (2) 評価（別紙視点参照）

87・88DV防止部署と児童虐待防止部署での連携した研修の実施により、DV防止対策担当者と児童虐待防止担当者の連携が強化されると共に、相談を担当する職員の専門知識の習得及び資質向上が図られた。

89学校職員向けの研修の実施により、児童生徒や保護者に接する教員の専門知識の習得及び資質向上が図られた。

90 児童虐待対応にあたる市町村相談職員及び関連の深い教育機関、医療機関向けに児童虐待の早期発見、早期対応に資する研修を実施した。

### 3 課題及び改善すべき点はあるか、ある場合、今後どのように対応していくのか。

<課題・改善すべき点>

87～90県や市町村に多くの相談が寄せられるとともに、面前DVが増加傾向にあるなど、DV、児童虐待それぞれの担当者には、DVと児童虐待双方の知識が必要となっており、基本的な知識から専門的知識までをカバーできる研修を継続して実施するとともに、威圧的な保護者や加害者に適切に対応できるよう、職員の資質向上を図っていく必要がある。

<今後の方針>

87～90基本的知識の習得及び実践的な対応力の向上に結びつく研修を継続するとともに、現場のニーズにあった専門的知識に関する研修を開催し、相談員の資質向上を図ることで、困難事例や被害者の個々の状況に適切に対応できる体制を充実させていく。

### 4 委員意見

・今後も現場のニーズを把握しながら研修内容をブラッシュアップし、経験層別研修の体系を整えていってほしい。特に、子ども及び家庭に日常的に接し問題点を把握しやすい学校等の職員への研修は、積極的に実施してほしい。  
・また、コロナ禍に対応できる方法（インターネットでの配信など）も検討し、継続した開催をお願いしたい。